



園長コーナー

引地 美津代

一月は北風が寒い日が続きましたが、子どもたちは元気に「お庭に行ってくる〜!!」と急いで園庭に走っていく姿が多くみられ、まさに『子どもは風の子、元気な子』と感心している毎日です。

年明けには、調理の先生が大奮闘！栗きんとん、なます、ごまめ、筑前煮、などを重箱に入れ、お正月を味わいました。そしてお正月遊びのコマ回し、羽子板、すごろく、に始まり幼児クラスのお友達でお正月のお花のアレンジメントも楽しみました。松や菊、ナンテンを自分の感性で生けてみました。どの飾りにも個性が出て保育園が明るく、お正月気分になりました。

そして、16日には、中川先生、西村先生が着物を着て、お手前を披露し、お茶会の雰囲気を楽しみました。子どもたちは正座をして、おいしいお茶を頂き、『結構なおてまえでした。』とご挨拶！
今回を機会にお茶会は2カ月に一度行って、『和の心』も伝えていきたいと思っています。

さて、月日の流れるのは早く、2月の成長発表会の時期が近づいてまいりました。
かえで保育園の行事として、何かをその時だけ取り組むのではなく、一年の成長を思い出しながら、子どもたちのやる気と緊張感を保護者の方々にうまくお伝えできるような方法を考え、披露します。
当日、乳児クラスは保護者の方々にもお手伝いをいただきながら、楽しい雰囲気づくりをし、幼児クラスは各人が一年間の成長ぶりが発揮できることを願っています。おまけですが、職員も披露しますのでお楽しみに・・・

保育園生活も随分定着し、子どもたちは、毎日が楽しく充実した時間を過ごせています。異年齢保育も3グループだけでなく他のクラスの子とも関わったり、園庭解放で来られた小さなお友達とも触れ合えたり、みんながかえで保育園の中で小さな関わりから大きな仲間として育ってきています。

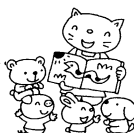
保育園説明会でお話ししました、各クラスのキーワードでの保育では、
「ていねいに、ゆったり関わり先生に見守られていろいろ経験し、考え、そして挑戦する」
この方法を基礎にした保育をすすめ、これからも子どもたちの個性を受け止め育んでいきたいと思っています。
2月後半から新しいクラスに向けて移行していく保育形態になります。
一つ大きいクラスになることを楽しみに2月は過ごしていきたいと思っています。



「だるまちゃんとてんぐちゃん」 作・絵 加古 里子

皆さんも一度は見たことがあるのではないのでしょうか？
ちいさいてんぐちゃんとちいさいだるまちゃんが出てくるお話です。
てんぐちゃんの持っている物が欲しくなり、何度もおねだりするだるまちゃん。
仲良しだけど、ライバルで、持っているものが素敵に見えるお友達。そして、ちいさいだるまちゃんの思いをじっくり聞いてあげるおおきなだるまどんと家族のみんな。
読んでいて、ほっこりします。
ぜひ 様々な目線で読んでみてください。
だるまちゃんの思いやだるまどん一家の温かさに触れられると思います♪

錦織 香奈恵



おしらせ



<2月予定>

- 2日(木)・節分の日の催しで、3~5歳児は巻きずしを作ります。
エプロンと三角巾のご用意をお願いします。
・ケーブルテレビの取材の方がこられます。14:00頃から2~5歳児の関わりや5歳児のインタビューを撮影されます。
- 10日(金)、16日(木)発表会の練習があります。9:30までに登園してください。ご協力よろしくお願いします。
- 23日(木)5歳児のみ、浜脇小学校へ交流にいきます。9:30までに登園してください。特に持ち物はありません。
- 25日(土)「せいちょうはっぴょうかい」があります。
乳児と幼児の二部制になっています。
乳児(0~2歳児) 9:30~10:30
幼児(3~5歳児) 10:45~12:00
詳細はおたよりで後日お知らせします。

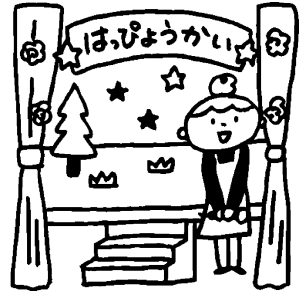
<3月予定>

- 1日(木)酒蔵見学があります。
幼児クラスと、希望された保護者の方と一緒に見学に行きます。
- 24日(土)卒園式があります。
職員が全員、卒園式に参列します。
3~4歳児は、だいち組の門出を一緒にお祝いします。
- 31日(土)新年度準備及び職員会議をします。家庭保育にご協力ください。

おはなしコーナー

今月は

西村 友貴 先生



寒さがより厳しく、起きるのが辛い時期になりました。冷たい風の中、ほっぺを真っ赤にしながらも元気に遊んでいる子どもたちをみると、「子どもは風の子」という言葉がぴったりだなと微笑ましく思います。

私が小学生の頃、冬に外で遊ぶのは大好きでしたが、寒い時期は憂鬱でした。なぜなら「寒い時期になると発表会がある」とハッキリ記憶していたからです。毎年クラスごとに劇をするのが恒例となっていたのですが、人一倍緊張する私は、みんなの前に立つのがとても苦手でした。「みんなに見られるだけでも緊張するのに台詞を言うなんて!」とクラスで役柄を決める時は隅の方で小さくなっていました。

高学年になり、1人1つは台詞があるようにしようということになりました。仲良しの友達と劇をするのは楽しい反面、とても不安でした。先生が決めてくれた題目について、このように表現したらおもしろいのではないかと、こう動いたらより本物らしく見えるのではないかとアイデアを出し合って劇を作り上げていくのは本当に楽しかったです。ただ、台詞を言うのはどうしても喜んでできませんでした。本当にたった一言なのですが、みんなが自分の番を待っていると思うと、言葉がうまく出てこないのです。そこで、お風呂の時間や歯磨きをする時、寝る前の布団の中でもぶつぶつと台詞を唱えて練習をしていました。

とうとう発表会の日がやってきました。客席はお父さんお母さん、そしてたくさんのビデオカメラでひしめき合っています。飛び出しそうな心臓を飲みこんで、心の中で何度も「大きな声で、落ち着いて」と念じながら、今か今かと自分の番を待ちました。ついに自分の番となった時、大きく息を吸って顔を真っ赤にしながらも今までで1番元気な声で台詞が言えました。ただ一言の台詞を言ったのですが、大勢の前で声を出せた誇らしさと、クラスに貢献できたという嬉しさで胸がいっぱいになりました。そして劇が終わった後に大きな拍手をもらえたことが大人の仲間入りをしたようで本当に嬉しかったことを覚えています。

かえで保育園の発表会ではどのようなドラマが待っているのでしょうか。どの子どもさんも緊張しながらもいい所を見てほしいと意気込み、ドキドキしながら当日を迎えるのかと思うと私たちもドキドキしてきます。ご家庭とはまた違う、子どもたちの成長した姿が見られるのが今から楽しみです。



りょうりのへやから



今年もかえで保育園は、子どもたちの元気な声で始まりました。

寒い中でも、園庭で元気に遊んでいる子供たちの声が「りょうりのへや」まで聞こえてきます。子どもたちは、元気いっぱい遊び、「今日のごはんなに？」と料理の入った容器を覗き、「今日〇〇や！」と目を輝かせ、園庭で遊んでいるお友達に「今日のごはん〇〇やで～早く手洗いや～」と声をかけに行ってくれます。

そして、食事を終え食器を返しにきた子どもたちが、「ごちそうさまでした。いつも、おいしいお給食ありがとう」や「ごちそうさまでした。今日の給食、美味しかったです」と、必ず一声かけてくれるようになりました。

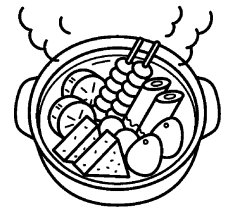
子ども達の頼もしくなった姿や、私たちに対して感謝してくれる気持ちにこどもたちの成長を感じ、胸が熱くなるこの頃です。

私たちも、かえでの子どもたちの「身体と心を育てていく給食」が提供できるよう頑張りたいと思います。

寒さが厳しくなり、インフルエンザやノロウイルスが流行してきます。

うがい・手洗いを徹底し、部屋の換気を細めにする・部屋の湿度を上げるなどの工夫をし、風邪やウイルスに負けない身体づくりをしていきましょう！！

冬に旬を迎える、だいこん・ねぎ・はくさい・ごぼう・しょうが・みかんなどの食材は、身体を温めてくれるという冬に食べるには最適な効果を持つ食材ばかりで、またこれらの食材にはビタミンAやCが多いので風邪予防に効果があります！！



今月は旬の食材がたくさん入った身体も心も温まる【豚汁】をご紹介します☆

(材料) 豚もも肉・じゃがいも・だいこん・ごぼう・にんじん・板こんにゃく・厚揚げ・白ネギ・ごま油・かつお昆布だし・米みそ

(作り方) 1、大根・にんじん・じゃがいもは皮をむき3cmくらいの厚めのいちよう切にします。ごぼうは水でよく洗って包丁の背で、ごぼうをこするように皮をむき厚めの斜め切にします。白ネギもごぼう同様に斜め切りにします。

2、こんにゃくは、5mm幅の拍子切にして下ゆでしておきます。

厚揚げもこんにゃくと同じ大きさにきります。

3、温めた鍋にごま油を敷き、豚肉の色が変わるまでよく炒め、にんじん・ごぼう・大根・じゃがいも・白ねぎを入れ全体に油がまわったら、こんにゃく・厚揚げを入れてだしを加えて野菜が柔らかくなるまで煮込みます。

※野菜や豚肉からアクが出るのでしっかりと取り除いてください

4、野菜が柔らかくなったら、みそを溶き入れて出来上がりです☆

野菜を炒める際に、おろし生姜や白菜などの野菜を加えてもおいしい豚汁になります！

また、うどんを加えて野菜がたっぷり入った“煮込みうどん”にもできます！！

この寒い季節に、是非お試しください！！



調理 原 夕貴

めばえ

子どもたちの様子



4月にはふたば組（1歳）に進級する子ども達、日常生活の面（食事や着脱等）では本当にたくさんの事ができるようになりました。昨年のクリスマスにサンタさんからプレゼントしてもらった絵本（ごあいさつ・いただきます・いいこでねんね）が大好きで、毎日一緒に読んで（見て）います。保育者と一緒に、トン・トン・トン！に合わせてドアをたたいたり、こんにちは！と頭をさげたり、牛乳をゴクゴクと飲むマネをしたり・・・とても愛らしい子ども達です。

最近はお友達との関わりも増え、園庭では追っかけっこをしたり、滑り台の下（上）から“おいでおいで”と手招きをして呼んで『一緒にすべろう！！』と言っているような姿や、おしっこが出たことも前をおさえて知らせてくれるようになってきました。めばえ組としての残り約2か月間、子ども達が自分でしようとする気持ちを大切に見守りながら、ふたば組への進級に向けて1つでも多くの事ができるよう見守っていきたいと思っています。



柴本 啓子

ふたば

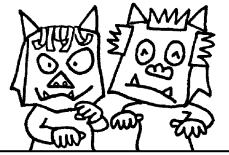
寒さもピークを迎えつつあり、室内で先月はたくさん過ごしました。サーキットでは、ジャンプができるようになった子どもも増え、跳び箱の上からジャンプするときには「先生、みて！」と、はりきってとんでいる姿が見られるようになりました。最初は高さが1段だったのですが、2段積んだ高さからも跳べるようになり、出来た時の表情はとっても嬉しそうです。また、お歌を歌ったり音を聞いたりすると、体を揺らすだけでなく、音に合わせて、私たちと一緒に手拍子でリズムをとる姿が見られるようになりました。ランチルームに技巧台を並べあげると、ステージに早変わり！最後にポーズを決めたりしながら、みんなかわいらしい歌声を聞かせてくれます。生活面では、お着替えを自分ですることに興味を持ち始めました。最初は保育者にしてもらおうのを待っていた子も、今では「じぶんでする！」と、ズボン「こっち？」と向きを聞きながら頑張ってはこうしています。

また、手伝おうとすると、「先生いや！」と自分でしたい気持ちを受け止めて見守りながら、正しい向きや手順を伝えていきたいと思います。残り2か月となりましたが、保護者の方とも遊びの姿や生活面のお話をさせて頂きながら保育をしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。今月は2階のお部屋やテラスで遊ぶことを増やししたり、つぼみ組と遊ぶ機会を設けていきたいと思っています。



中山 英子

つぼみ



新しい年を迎え、今年も子どもたちの元気な顔が見られて嬉しく思います。長いお休みが明け、お母さんお父さんと離れるのが寂しい様子でしたが、お友だちが登園すると「おはよう！」「〇〇ちゃ〜ん」ととても嬉しそうに駆け寄って迎えたり、少しずつ園での生活を思い出しながら好きなこと、好きなお友だちとの関わりを楽しんでいます。

1月は「あけましておめでとうございます」の挨拶から始まり、「？」が飛んでいる子どもたちでしたが、「どうやっていうの？」と興味を持ってお友だちや私たちにもお正月の挨拶をしてくれました。遊びでは絵合わせや駒といったお正月の遊びに触れ、お正月の歌をみんなで歌い、「きな粉もち食べた！」「お父さんお母さんと西宮神社行ったよ」などそれぞれのお正月の出来事を教えてくれました。手作りの凧作りでは、ビニールの感触を楽しみながら思い思いの絵を描き、園庭やテラスで「どうやるん？」「とんだ〜」と言葉いっぱい凧揚げをしました。念願のさつま芋クッキングでは、エプロンや三角巾をつけてわくわくどきどき気合い十分！丸める時の力加減が難しく、なかなか思うように丸くならず苦戦しながら作りました。出来上がった時には「まだ食べないの？」と楽しみにしており、15時のおやつでは他クラスのお友だちや先生にもおすそわけが出来ました。

また、ピオトープの魚や花の水やりに興味津々の子どもたちです。みんなで植えたチューリップを見ては「赤色のお花が咲くんだよ。によきによき〜って」「ここ出てきてる！」と小さな一つの芽にも喜びいっぱい伝えてくれます。今後も植物を育て、成長や季節の変化を感じたり、大好きなリトミックで動物や昆虫に変身して楽しんでいきたいと思っています。



河本 彩奈

いぶき・ひかり・だいち

2012年も1か月が過ぎ寒い日が続きますが、子どもたちは自分たちで衣服の調整をしながら元気に園庭で遊んでいます。

さて、かえで保育園では日本の伝統文化を大切にしています。日本にはいろいろなお正月の遊びがあります。コマや羽子板や凧、すごろくにかるた…。そこで1月はたくさんお正月の遊びを楽しみました。すごろくやるたはまずだいちぐみさんから興味を持って始めたのですが、気が付けばひかりぐみさんやいぶきぐみさんも混じって楽しんでいました。10か月一緒に過ごしてきた中で、いぶき・ひかりぐみさんは自然とだいちぐみさんのしていることに興味をもち、だいちぐみさんは自然といぶき・ひかりぐみさんに教えてあげる。そんな関係が出来ていることをうれしく感じました。またコマ回しは私自身があまり経験したことが無く、子ども達と一緒に悪戦苦闘しながら練習しました。そんな中、手回しコマが上手に出来るようになったいぶきさん。「やりたーい!!」とやってきたつぼみさんに「こうするんだよ」と教えてあげる姿はまさにお兄ちゃん・お姉ちゃんの顔でした。

このように日々の生活の中で出来るようになったことや成長したところを発表会では劇遊びや表現活動を通して保護者の皆様に見ていただきたいと思います。



丹波 優衣